

月刊

モンキー!

動物園版

2016年は申年

かみね動物園で暮らす
15種類のサルたちを
毎月紹介

1

2016

毎月10日発行

カラー版はかみね動物園
ホームページをチェック!



レッドリスト：VU(絶滅危惧Ⅱ類)
ワシントン条約：付属書Ⅰ
食用にされたり、森の開発により
生息地が縮小されており絶滅が心
配されています。

今月のピックアップモンキー

マンドリル

英名Mandrill 学名 *mandrillus sphinx* 霊長目オナガザル科
群れで暮らし、400頭を超えることもあります。寿命は飼育下で20～
25年程度。果実、種子、キノコ、昆虫、小動物など何でも食べます。

☆ここに注目☆

オスとメスでこんなに違う！

ケンシロウ♂



リエル♀

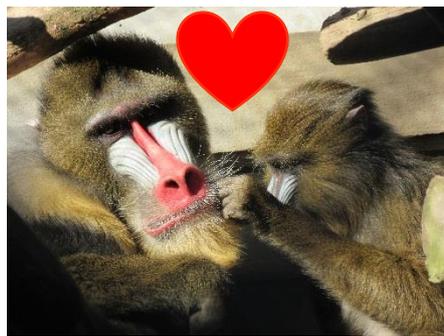


オス♂	メス♀
体重	
25～30kg	10～15kg
顔の色	
鮮やかな色	くすんだ色
おしり	
虹色	発情時に赤く膨れる

マンドリルをイメージする派手な顔色は大人のオスの特徴です。メスやオスも子供の時はくすんだ色をしています。体の大きさもオスとメスでは倍以上差があるため、リエルちゃんはよく子供と間違えられてしまいます...

また、お尻も特徴的でオスはとてもキレイな色をしています。メスは発情がくると普段からは想像出来ないほど性皮が赤く膨らみ、リンゴがくっついているかようになります。病気ですか？と聞かれてしまうほどです。

メンバー紹介



ケンシロウ	リエル
2006年2月7日 東武動物公園生まれ	2010年8月4日 大牟田市動物園生まれ
体は大きいですが 意外と小心者...	体は小さいですが なかなか気が強い！

グルーミングをしたり、寄り添って日向ぼっこをするなど仲良しです。

よく「赤ちゃんはできないのですか？」と聞かれます。まだ2頭とも親になった経験はなく若いため担当者もやきもきしていますが、温かく長い目でみてもらえたらと思います。



マンドリル・マントヒヒ問題？！



マンドリル運動場前でよく聞かれるのが「あっ！マントヒヒだ！」という声。10人中9人は勘違いしているのではないかと思います...ネットで「マントヒヒ」と検索するとたくさんのマンドリルの画像がでできます。どうしてこれ程間違えられてしまうのでしょうか？

マンドリルとマントヒヒは同じアフリカ大陸でも住んでいる場所が違います。

名前は似ていますが、マンドリル属とヒヒ属に分かれています。

見た目も全然違い、似ていません。

勘違いや思い込みは誰にでもあるものです。動物園に来たらぜひ目の前にいる動物たちのことをよく観察し、解説板にも目を向けてみて下さい。意外と間違っていたり、知らなかったことが多いかもしれませんよ？！



ぼくがマントヒヒだよ

お知らせ

13:00～マンドリルのごはんタイム

お話を聞き、おやつをあげることができます。注目ポイントはマンドリルの手！指や爪、指紋の有無など近くで確かめてみよう！

月刊モンキー！制覇記念

動物園版の1～12月号全てを集めた方にオリジナルファイルをプレゼント致します。

飼育員の一言

祝！月刊モンキー発行♪かみね動物園にはたくさんのサルが暮らしていますが、注目度が低いのが現状...そこでサル年の今年はアピールするチャンス！と考え今回の発行となりました。毎月色々な種類のサルたちが登場しますのでお楽しみに！！

サルの楽園担当

